

コミュニティ政策学会・研究フォーラム Newsletter No.3 (2003.4.10)

コミュニティ政策学会・研究フォーラム第2回大会のご案内

(主催：コミュニティ政策学会・研究フォーラム・犬山市)

※現在の準備状況です

日時 2003年7月5日(土)―6日(日)

会場 犬山国際観光センター フロイデ

犬山市松本町4-21 (名鉄・犬山駅すぐ)

TEL0568-61-1000 FAX0658-63-0156

第1日目<全大会>

7月5日(土) 13:00 (1) 第2回総会

14:00 (2) シンポジウム

「コミュニティ政策学へのアプローチ」2

～コミュニティ関係諸領域からの問題提起

建築学 広原盛明氏 (龍谷大学)

政治学 白石克孝氏 (龍谷大学)

社会福祉学から シンポジアスト 未定

(3) 首長鼎談

「私のコミュニティ論―市町村合併とコミュニティ」

新潟県 豊栄 (とよさか) 市長 小川 竹二 氏

三重県 名張市長 亀井 利克 氏

只今1名交渉中

司会 中西 晴史(日本経済新聞社)

(4)懇親会

第2日目<分科会>

7月6日(日) 9:30-12:00 報告者募集中

分科会1「地域住民組織・NPO・自治体の協働」

分科会2「市町村合併とコミュニティ」

分科会3「自由報告」

※5月初旬に参加費(3,000円)等のご案内を郵送させていただきます。
(お問合せ先・連絡先学会事務局 yanagi@gakusen.ac.jp)



第1回シンポジウム開かれる！！

～テーマ

「NPO と地域住民組織の協働による

コミュニティづくり」～

当学会主催の第1回シンポジウムが、去る2月22日に約64名の参加で開催された。(会場・名古屋大学)。このところ、NPOと自治会などの地域住民組織が協働してコミュニティの充実・発展を目指す取り組みがすすんでいる。これらの状況を地方分権、コミュニティ政策の視点から深めるものとなった。当日の報告者は次の方々が担当した。

<基調報告>山崎丈夫(愛知学泉大学)、

<事例報告>西田又紀二(レスキューストックヤード)・丸山 功(八幡町役場)・田中義岳(宝塚市役所)・敬称略。当日の内容は、近刊の学会機関紙に掲載される。

第2回常任理事会の議事録

日時 2003年2月22日(土) 11:00~12:20

会場 名古屋大学人間情報学研究科棟 1F 会議室

出席者 理事28名中、10名(代理1名を含む)

議長 中田会長

議題

報告事項

1 事務局庶務報告

(1) 学会ロゴ応募状況

応募2通(3点+2点)と少なく、次回理事会まで決定を見送ることとなった。

(2) 入会状況

昨年8月9日~今年2月21日の間に、18名の入会希望者があった。

なお、会員の所属について、1.自治体 2.学校・研究機関 3.学生 4.市民団体・その他、の四つに分類しその構成が示され、会員拡大・広報活動の指針にしたいとの提案がなされた。(資料:グラフ)

(3) Newsletter 関係

No.1:(2002.9.24発行)、400部(単価130円)、No.2:(2003.1.10発行)300部(単価150円)を発行した。既発行分に対するコメントおよび次回以降への注文や、次回発行時期・掲載記事の決定に意見が求められた。

(4) ホームページ(HP) 関係

事務局から、HP掲載記事の選定と掲載の可否等の手続き確認が求められ、これらは事務局の判断に一任されることになった。関連してHPへのアクセスが分か

りにくいとの意見があり、愛知学泉大学トップページから入れるように改善することになった。

2 研究企画委員会報告

鈴木委員長から、本日開催の第1回シンポジウム「NPOと地域住民組織の協働によるコミュニティづくり」について報告があった。

3 編集委員会報告

中川委員長から、同委員会で決定された機関誌投稿規程および執筆規程について報告があった。(内容は別項参照)

4 研究プロジェクト報告

第1プロジェクト：名和田代表（理事、当日欠席）から、文書で報告があった。

プロジェクト参加登録者は17名で、第1回の研究会を1月26日に開催し、10名が参加した。

メーリングリスト上での意見交換が始まっている。第2回の研究会は、4月上旬に、宝塚市で、同市のコミュニティづくりの見学を兼ねて開催の予定。

第2プロジェクト：菊池代表（理事）から報告があった。プロジェクト参加登録者は10名。今後の研究会の予定は、3月1日に「NPOとコミュニティ」、その次の回は「自治の主体としての町内会」である。会場はいずれも日本都市センター。

第3プロジェクト：山崎代表（理事）から報告があった。プロジェクト参加登録者は、15名。1973年度から始まる自治省のモデル・コミュニティ地区についての追跡調査、国民生活審議会報告『コミュニティ』作成に関った方々のヒアリング等を計画している。

年度内に研究会を持ちたい。

審議事項

1 入会の承認

本日までに申込みのあった18名について、承認された。(名簿は別項)

なお、事務局より会費徴収に係る期間設定について提案があり、12月末までの入会申込者に対しては当該年度の会費全額を徴収し、それまでの間の資料等は送付する。1～3月の申込については、新年度からの入会扱いとすることになった。

2 機関誌『コミュニティ政策』創刊号の編集について

中川編集委員長より、創刊号は依頼原稿（設立大会および第1回シンポジウム報告者に別途依頼）と、ニュースとすること、機関誌の版型はA5とし、発行者は東新堂（東京）としたい。また、創刊号の原稿締切りは3月末である、と提案があり、了承された。

3 第2回大会の開催時期および場所について

第2回大会について、開催時期は本年7月5-6日、場所は愛知県犬山市としたいと提案があり、了承された。ついで、大会の企画について審議され、以下のように入会することになり、以後は研究企画委員会ですと定めることとなった。

第1日（7月5日（土））午後 総会

シンポジウム2：行政学、社会福祉学、建築学から

首長鼎談：町村合併問題をめぐって

懇親会

第2日（7月6日（日））午前 自由報告（分科会） 報告者募集（別項参照）
なお、大会の前後に理事会が開かれる。

4 今後の事業の実施について

自由な意見交換が行われた。

5 その他

次回の理事会は、7月5日（土）午前および7月6日（日）午後で開催されることになった。 以上

第3プロジェクト研究会のご案内

第3プロジェクトは、「わが国コミュニティ政策の総括」を目指しています。具体的には、モデル地区の方々への選択的ヒアリングなどを予定しております。実際に調査に取り組むにあたり、事前研究会を行います。

下記のとおり、研究会を行いますので、ご多用と存じますが、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

「記」

日時 2003年4月26日（土） 午後2時～5時

会場 名古屋市教育館（名古屋市中区栄 TEL（052）961-2541 地下鉄「栄駅」すぐ上）

テーマ 「日本のコミュニティ政策の歴史的特徴」

報告者 中田 實（当学会会長）

※ 申し込み先 第3プロジェクト世話人・山崎丈夫

(E-mail yamasaki@gakusen.ac.jp TEL0565-35-8430(研究室直通))

※ 当日参加可

◆ 事務局より◆

平成15年度年会費の請求を5月初旬に発送させていただきます。住所、所属の変更がある会員の皆様は事務局までFAXまたはe-mailでお知らせください。

なお、第2回大会の参加費・懇親会も同封させていただきます。年に1度の大会ですので万障お繰り合わせの上、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

コミュニティ政策学会・研究フォーラム Newsletter

愛知学泉大学 コミュニティ政策研究所内 〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1
Tel:0565-35-7031 Fax:0565-35-7020 e-mail:a-compol@gakusen.ac.jp
<http://www.gakusen.ac.jp/commu/a-compol/index.htm>

発行日 2003年4月10日
編集 事務局 明瀬、柳